

(財) 岐阜県国際交流センター 国際交流情報誌

世界はひとつ

日本語版

2011

秋

No. 120



永田 なゆみ さん
大垣市立西小学校 4年生



発行 / (財) 岐阜県国際交流センター

〒500-8875

岐阜市柳ヶ瀬通1-12 岐阜中日ビル2F

TEL 058-214-7700 FAX 058-263-8067

E-mail gic@gic.or.jp URL www.gic.or.jp

センターの事業報告

ブラジル人学校児童・生徒進路支援

平成23年7月から、美濃加茂市のイザキ・ニュートン・カレッジで、生徒への支援として進路ガイダンスを行っています。子どもたちが、将来をどう考え、どう捉えているのかを調査し、ガイダンスを行うことで、より多くの生徒が自分の将来と向き合い明確なビジョンを描けるようにし、定住する際に安定した生活が営めるよう支援するため、NPO 可児市国際交流協会と共催で「ブラジル人学校児童・生徒進路支援事業」を開催。今回は、病院などの公共機関や民間企業で実際の職場を体験する予定です。

進路アンケートの実施

進路ガイダンスを実施する前に、生徒84名を対象に、進路アンケートを実施しました。内容は将来の職業や働きたい国、高校卒業後の進路、日本の高校進学の有無などを訊ねました。

- ◆アンケート対象者：ブラジル人学校の生徒、6年生～9年生・高校生
- ◆アンケート内容：生年月日、住所、出生国、同世帯者、将来は日本・ブラジルのどちらで暮らしたいか、その理由、将来の夢（仕事）、就業地、高校卒業後の進路、日本の高校進学希望の有無



進路ガイダンス

- ◆日程：7月14日（木）・7月15日（金）・7月21日（木）・7月22日（金）・7月25日（月）・8月22日（月）・8月29日（月）
- ◆対象：6年生（17名）・7年生（15名）・8年生（15名）・9年生（11名）・高校生初級クラス（10名）・高校生中上級クラス（9名）

- ◆内容：「就職するためにはどんな資格が必要か」から遡り、日本の学校に編入、入学するにはどのような手段があるのか、中学卒業認定試験のサンプルを見たり、パワーポイントで図解しながら説明しました。高校生には奨学金制度についても説明しました。また、同校の現役高校生から、日本語能力試験N1取得のきっかけや重要性、勉強方法を話してもらい、東濃高校生からは日本の高校の様子について話してもらいました。また、インターネットを使って自主調査として、自分の将来の夢の職種の系統は何なのか、その系統にはどんな職種があるのか、自分がやりたい仕事に資格は必要か、資格を得るためにどこで何を勉強する必要があるのかなどを調べました。



進路学習セミナー

- ◆日程：9月16日（金） 18:00～21:00
- ◆場所：可児市多文化共生センター フレビア
- ◆参加者：22名（ブラジル21名・フィリピン1名）
- ◆講師：ATR 主宰 土屋ロベルト章氏
- ◆内容：IT分野を中心に、どのような仕事があるのかや、様々な技術の実演とその習得方法などを講義しました。また、仕事での成功の秘訣や、ネット上での仕事獲得に役立つ手法などを説明しました。参加者はブラジル人の小学生から高校生を中心とし、大人も参加しました。専門的な技術の話もあったため、「難しかった」とのコメントが多かったですが、普段見ることが少ない技術の裏側の実演に興味深く聞き入っていました。



平成 22 年度先導的多文化共生支援事業

当センターでは、多文化共生社会の形成に資する先導的・モデル的な事業をプロポーザル形式により公募し、平成 22 年度は 4 件の事業を採択しました。そのうちの 1 団体の活動を紹介します。

「美濃加茂華友会」活動紹介

美濃加茂華友会（みのかもかゆうかい）は、2008 年に設立された任意団体です。会員数は 2011 年 4 月現在、中国籍、日本国籍あわせて 40 人ほどです。① 地域で生活する中国人が元気に暮らしていけるようにすること。② 新しい仲間を受け入れた地域をよりよい環境にしていくこと、をミッションとして、様々な交流会・勉強会等を実施しているところです。

平成 22 年度には、(財) 岐阜県国際交流センターの委託事業として「地域住民と定住外国人をつなぐ架け橋事業」を実施し、定住外国人が安心・安全に生活できるようになることを目的とし、地域住民との距離を縮めるための様々な活動を行いましたので、それらを紹介します。

① 中国人の相談窓口設置

美濃加茂市内の多文化交流センター内に団体の事務局を設置し、中国籍住民と直接会って中国語で相談できる場をつくりました。また行政書士を使って在留資格に関する相談など専門的な相談も通訳を用いて中国語で行えるようにしました。

② Twitter を利用した情報発信

地方公共団体からの情報、多文化共生に関するイベント情報等を Twitter（簡易ブログ）やメールマガジンで中国語及び日本語で提供しました。

③ 中国語講座

中国語を学習したい日本人住民に対して、中国語講座を開催しました。地域住民と中国籍住民のコミュニケーションを増やすことがねらいでした。

④ 日本語講座

中国籍住民を対象に日本語講座を開催しました。地域住民と中国籍住民の間のコミュニケーションを増やすことがねらいでした。

⑤ 冊子の作成

外国人住民に接する機会が多い、又は外国人住民と接したいという日本人を対象に、日本語で冊子を作成しました。タイトルは「多文化共生と定住外国人に関する Q&A」。A5 サイズで 23 ページ。1000 部作成しました。

⑥ 中国語情報誌の発行

中国語の情報誌を毎月発行しました。A4 サイズで裏表の 2 ページ。掲載した内容は、地方公共団体からのお知らせ、日本の習慣、多文化共生関連イベントのお知らせなど。紙媒体での配布のほか、PDF フォーマットでも配布しました。中国籍住民の生活に必要な情報が彼らに伝わるようにするのがねらいでした。



世界の文化紹介

ブラジルの文化について

ブラジルは、サッカー・カーニバル・アマゾンの国として有名ですが、その他に公用語は「ブラジル語」ではなく「ポルトガル語」、首都は「リオデジャネイロ」ではなく「ブラジリア」など、ブラジル文化についてどれくらい知っていますか？今回は10月・11月・12月の祝日を紹介します。

10月 子供の日

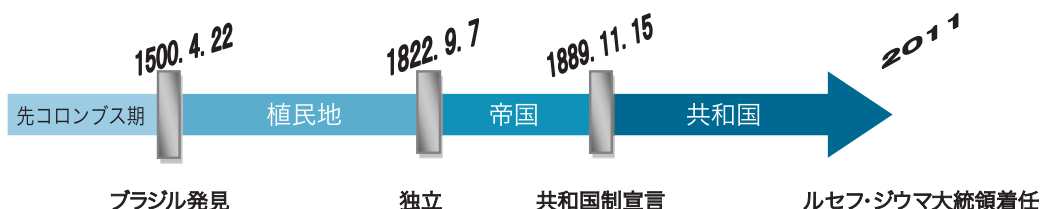
- ・ブラジルでは、10月12日に子供の日が祝われます。
- ・子供達を祝うという考えは、1920年代に始まり、1924年に公式に決まりました。
- ・偶然にもこの日はブラジルの聖母アパレシーダ（ポルトガル語：ノサ・セニョーラ・アパレシーダ）の祝日にあたります。
- ・日本では、男の子の日と女の子の日は別々に祝われていますが、ブラジルでは昔から一緒に祝われます。
- ・飴やクッキー、お菓子などの入った袋を配るのはもちろん、昔からあるボール遊びや鬼ごっこ、車遊びやままごともします。

あなたは知っていますか？



11月 11月15日はブラジルの共和制宣言記念日です！

- ・独立後、中南米で帝国になった唯一の国は、ブラジルです。
- ・現第36代目大統領、ルセフ・ジウマ大統領はブラジル初の女性大統領です。
- ・ブラジルの皇帝の子孫はブラジル・ヨーロッパ各地に住んでおり、ブラジルの政治のピンチヒッターとして、現在も家系が保たれています。



12月 クリスマス

クリスマスはキリスト教と深い関係にあります。しかし、多くのブラジル人は宗教に関係なく、家族や友達と友愛を深め、プレゼント交換をするために12月25日に集まります。ブラジルでは、伝統的な「アミーゴ・セクレート」（直訳すれば「秘密の友達」）という遊びをします。クリスマス・イヴの夕食（晩餐）は、真夜中0時に鳴る鐘で始まり、夕食には七面鳥や豚のもも肉が欠かせません。その他に、イタリア人の移民たちによって伝えられた、「パネトーネ」、(イタリア語は「パネットーネ」)という有名な菓子パンがあります。

パネトーネ

パネトーネはドライフルーツやチョコレートを刻んだものを混ぜ込んで焼き上げた、菓子パンのこと。イタリアのアントーニオというパン職人が焼いたからという説もある。トーニのパンという意味のパネディトーニ (pane di toni) が訛ったとされる。(トーニはアントーニオの愛称)



台湾の文化について

●台湾の伝統文化「辦桌」（国語：バンゾウ 台湾語：バンドー）

皆さん、こんにちは。台湾出身の相談員 陳羽綾と申します。

今回は台湾の独特な伝統文化「辦桌（バンゾウ、バンドー）」を紹介します。

「辦桌」とは、結婚式や祝賀パーティーなど室外で10人がけのテーブルを囲み、大皿で盛られた本格的な台湾料理の食事を楽しむ台湾伝統の宴会スタイルです。家の入り口や、道のど真ん中、家の周辺の空き地で宴席が設けられます。

「え？道のど真ん中って、邪魔になるので文句を言われませんか？」という質問が出てきます。昔からの伝統文化であり、今の時代になっても、台湾人はこういうところがすごく寛容です。「辦桌」中だと分かたら、黙って遠回りをするのです。

しかし、台湾の北部では場所の確保が困難になり、今ではほとんどレストランで済まされますが、中南部では、今も「辦桌」の風習が残っていて、冠婚葬祭がある時は、「辦桌」を見ることができます。

そして、台湾の「辦桌」では、お持ち帰りの習慣があり、食べ切れなかった料理は事前に用意された袋に入れて持ち帰り、食べます。これは台湾人の節約を表しているといえるでしょう。

今度、台湾の友人から「辦桌」に誘われたら、是非出席して皆と一緒にワイワイしましょう★



オーストラリア・レシピの紹介

●かぼちゃスコーン

由来 オーストラリアはイギリスの元植民地のため、いろいろな食の習慣が伝わってきました。

その一つは、「ティータイム」という午後4時ぐらいに食べられている軽食です。

ティータイムに楽しまれているお菓子の一つにスコーンがあります。オーストラリアではカボチャが育ちやすいので、スコーンに加えられるようになりました。

現在ではあまり作られていませんが、私はよく子供の頃に作っていたので、皆さんにもぜひ作っていただきたいです。紅茶を飲みながら、バターを付けて美味しく召し上がって下さい。 (国際交流員・サリー ウォールズ)

材料 (12個分)

薄力粉・・・300グラム
ベーキングパウダー・・・小さじ2
砂糖・・・大さじ1
バター・・・80グラム
冷やしたマッシュカボチャ・・・150グラム

作り方

- 1) マッシュカボチャを作ります。かぼちゃの皮、種を取り、茹でます。お湯を切ってからペースト状になるまで潰し、冷蔵庫に入れて冷めます。
 - 2) ビニール袋（ポリ袋）に薄力粉、ベーキングパウダー、砂糖を入れて、袋の口をしっかり持って空気を含ませるように上下左右に30秒ほど振り混ぜます。粉類をボールに入れます。
 - 3) バターを柔らかくなるまで温め（電子レンジで15秒ほど）、2)のボールに入れ、指先でこすりあわせるようにして、粉に混ぜ込みぼろぼろのパン粉状にします。
 - 4) マッシュカボチャをボールに加え、さっくりと切るように混ぜる。まだ少し粉っぽい場合は、牛乳を少量加えます。
 - 5) 打ち粉をした台の上で生地を手早くまとめ、麺棒か手で伸ばします。
 - 6) 丸い型で抜いて、打ち粉をした天板に並べ、200度に温めておいたオーブンで20分ほど、きつね色になるまで焼きます。
- ※4番目の段階にレーズンを入れても美味しいです。砂糖を除いたら、スープと一緒に楽しめます。



センターの相談業務について

当センターでは、岐阜県内の在住外国人の皆様が抱える様々な問題に対応するため、相談員を設置しています。相談は来所、電話、E-mail、FAX のいずれかで受け付けています。日々の生活で困ったこと、悩みなどがありましたらご相談ください。

対応言語：英語、中国語、ポルトガル語、タガログ語

今回は、相談窓口寄せられた質問の中から、雇用保険の失業等給付について紹介します。

質問「会社を辞めました。失業保険を受給するにはどうしたらいいのでしょうか。」

答え「最寄りのハローワークにご相談ください。」

雇用保険の失業等給付について

失業等給付には「求職者給付」、「就業促進給付」、「教育訓練給付」、「雇用継続給付」の4種類があります。一般的に失業保険と呼ばれているものは、「求職者給付」の中の基本手当のことです。

基本手当とは、雇用保険の被保険者が、自己都合や解雇等により離職した際に、失業中の生活を心配せず新しい仕事を探し、一日も早く再就職することを支援するために支給されるものです。

受給するためには、以下のとおり条件があります。

- ①失業していて、職業に就きたいという意志（仕事を探すこと）と、働く能力があること
- ②離職の日以前2年間に、賃金支払の基礎となった日数が11日以上ある雇用保険に加入していた月が通算して12ヶ月以上あること
- ③ハローワークに求職の申込みをしていること

また、以下に該当する場合は、基本手当を受給することができません。

- ①病気・けが・妊娠・出産等のため、すぐには就職できない状態にあるとき
- ②定年等で退職してしばらく休養するとき

基本手当を受給するには、まずハローワークで手続きをします。詳細については、最寄りのハローワークにお尋ね下さい。

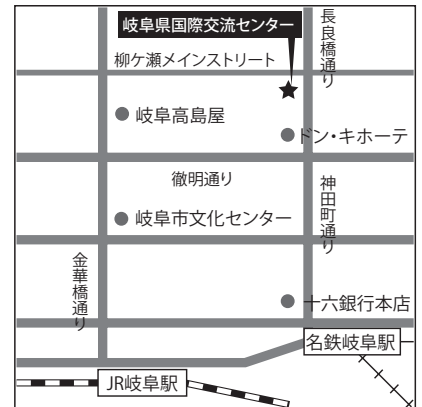
	住 所	電 話 番 号
ハローワーク岐阜	岐阜市五坪 1-9-1 岐阜労働総合庁舎	058-247-3211
ハローワーク大垣	大垣市藤江町 1-1-8	0584-73-8609
ハローワーク揖斐	揖斐郡揖斐川町極楽寺字村前 95-1	0585-22-0149
ハローワーク関	関市西本郷通 4-6-10	0575-22-3223
ハローワーク美濃加茂	美濃加茂市深田町 1-206-9	0574-25-2178
ハローワーク多治見	多治見市音羽町 5-39-1 多治見労働総合庁舎	0572-22-3381
ハローワーク中津川	中津川市かやの木町 4-3 中津川合同庁舎	0573-66-1337
ハローワーク恵那	恵那市長島町正家 1-3-12 恵那合同庁舎	0573-26-1341
ハローワーク岐阜八幡	郡上市八幡町有坂 1209-2 郡上八幡地方合同庁舎 1F	0575-65-3108
ハローワーク高山	高山市上岡本町 7-478	0577-32-1144

センターからのお知らせ

● (財)岐阜県国際交流センター事務所移転のお知らせ — 10月31日(月)より移転しました —

- ◆ 移転先住所 〒500-8875 岐阜市柳ヶ瀬通 1-12 岐阜中日ビル 2階
- ◆ TEL 058-214-7700
- ◆ FAX 058-263-8067
- ◆ 開館時間 日曜日から金曜日の9時30分から18時
(年末年始(12月29日から1月3日)を除く)
※ 電話受付は9時から開始

【アクセス】 JR岐阜駅より徒歩15分、名古屋鉄道岐阜駅より徒歩10分
岐阜バス 柳ヶ瀬バス停より徒歩2分
※ 駐車場がありませんので、公共交通機関をご利用下さい。



● 医療通訳サポーター研修 2011 参加者募集

「日本語が話せないから病院に行けない!!」そんな外国人をサポートしてみませんか?
医療通訳は医者と患者をつなぐ大切な役割があります。今回の研修は初級・上級コースに分かれて、それぞれのレベルに合った内容で行います。初級コースでは医療通訳の基本的な会話や重要用語を、上級コースではインフォームド・コンセントなどが体験できます。

日 時：平成23年12月10日(土)、11日(日) 13:00～17:00

場 所：岐阜大学 医学部(岐阜市柳戸1-1)

対象言語：ポルトガル語、中国語、タガログ語

対 象 者：岐阜県在住の外国人で、日本語の日常会話ができる方

(日本人で、対象言語の日常会話ができる方も参加OK!!)

※ 研修は日本語で行います。

受講料：無料

定 員：100名

※ 詳細は国際交流センター HP (<http://www.gic.or.jp>)
でご確認下さい。

国際ひろば

● 第33回 んふアジア映画祭

下記の日程でアジア映画の作品を上映します。

詳細については岐阜市文化センターにお問い合わせください。

< 問い合わせ先 > 岐阜市文化センター(岐阜市金町5-7-2)

TEL: 058-262-6200

日 時	作品名(舞台になった国)	上映場所
11/11(金)	14:00～ 19:00～ 「ブンミおじさんの森」(タイ)	岐阜市文化センター
11/12(土)	13:00～ 15:00～ 「ベルシヤ猫を誰も知らない」(イラン) 清水美穂ゲストトーク	岐阜市文化センター
11/17(木)	14:00～ 「彼とわたしの漂流日記」(韓国)	CINEX(柳ヶ瀬)
11/23(水) 祝	10:30～ 14:00～ クロッシング(韓国・北朝鮮・中国)	岐阜市民会館
11/26(土)	13:00～ 「川の底からこんにちは」(日本)	岐阜市文化センター
11/29(火)	① 10:30～ ② 14:00～ ①「白い巨塔」(日本) ②「張込み」(日本)	岐阜市文化センター
11/30(水)	① 10:30～ 18:00～ ② 14:30～ ①「飢餓海峡」(日本) ②「黒い画集」(日本)	岐阜市文化センター
12/2(金)	① 14:00～ ② 19:00～ ①「台北の朝、僕は恋をする」(台湾) ②「再会の食卓」(中国)	岐阜市文化センター
12/3(土)	① 13:00～ ② 15:30～ ①「再会の食卓」(中国) ②「台北の朝、僕は恋をする」(台湾)	岐阜市文化センター
12/4(日)	① 13:00～ 15:10～ ①「トロッコ」(台湾) 「トロッコ」監督ゲストトーク	岐阜市文化センター

< チケット > 岐阜市文化センター、岐阜市民会館、チケットぴあ等で販売
1回券 800円(当日1,000円)、3回券 2,100円、10回券 5,000円

● 日本語ボランティア「鮎の会」

創立10周年記念イベント

日 時：平成23年11月19日(土) 13:00～16:00

場 所：ハートフルスクエア G 2F 大研修室 (JR岐阜駅東)

定 員：80名(申込順)

参加費：無料

・記念講演 13:00～14:00

「日本語ボランティアの腕をみがいてみませんか？」

～学習者がニッコリ笑って帰るために～

講 師：船見和秀氏(国際交流センター日本語教師養成講座講師・三重県伊賀市外国人児童生徒教育コーディネーター・伊賀日本語の会テクニカルアドバイザー)

・学習者スピーチ 14:30～15:00

・交流茶話会 15:10～16:00

・パネル展示(鮎の会10年のあゆみ)

問い合わせ先：日本語ボランティア「鮎の会」

代表者 藤田いづみ (TEL 090-9935-8571)

ボランティア募集中!

情報・寄稿を募集しています!

「世界はひとつ」に掲載する情報・寄稿を募集しています。掲載ご希望の方はセンターまでご連絡ください。なお、誌面の都合により掲載できない場合があります。ご了承ください。

GIC コーナー (新しい国際交流員の紹介)

皆さん、初めまして。

私は、サリー・ウォールズと申します。西オーストラリア州の南の方から来ました。高校生の頃に初めて日本語を勉強して、2000年に学校の授業として、グループで10日間日本を訪れました。そのとき以来、日本との関係が続いています。



この2年半、日本に住んでいます。長野県のスキー場のアルバイト、宮崎県で英語のアシスタントの教師を含めて、日本でいろいろな仕事をしました。岐阜県に住むのは初めてです。岐阜県の国際的なニーズをできるだけサポートしたいです。日本語でも英語でも、国際交流に興味がある人でも、日本での生活のサポートを求めている外国人の方も、何でも気軽に聞いてください。どうぞよろしくお願ひします。

皆さん、こんにちは。

顔 志雄 (YAN ZHIXIONG) と申します。岐阜県と友好提携している中国江西省の南昌市から参りました。



今回は私の二回目の日本長期滞在です。一回目は2009年香川県の田舎の滞在でした。今度はやっと都市に来ました。日本の田舎でも都市でも仕事と生活をした経験があるので、全面的に日本の社会を認識し、中日両国の食い違いを感じ、さらに友好交流の仕事を展開するに大いに役立つと思います。

文字通りに、国際交流員の仕事の性質は交流のことです。すなわち、いろいろな方法で積極的に地方、国、人々との相互理解を促進させなければなりません。今後私はこれを目標とし、普段の仕事の中絶えず頑張っていきたいと思います。

私の仕事 皆さんに役立つことがあればと思うと同時に、皆さんからもご支持、ご協力のほどよろしくお願ひします。ありがとうございます。

JICA コーナー

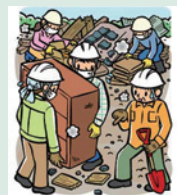


皆さま、こんにちは。岐阜県 JICA デスクの栗原です。

2011年3月11日…東日本大震災発生時、

皆さんは「どこで、何をしていましたか？」

震災から半年以上が経ち…被災地では、地元の方や自衛隊・ボランティアが活躍し、復興に向け大きく前進しています。



今回は休暇を利用して「被災地支援ボランティア」に行かれた、倉坪久美 O G の体験記をご紹介します。倉坪 O G は 2005 年 12 月～2007 年 12 月までジンバブエで音楽隊員として教員養成学校で活動されました。

被災地支援ボランティア体験記 (活動場所: 宮城県気仙沼市・石巻市)

活動期間: 2011年8月中旬 (1週間)

活動内容: 重機等では取りきれない家具、写真などを手作業で泥の中から回収し、分別、仕分作業

参加当初「自分に何が出来るだろうか?」と不安でしたが、現地に行ってみて改めて現地に足を運ぶことだけが復興の支えではないとも感じています。

コンビニの募金箱に寄付をする、被災地応援の商品を購入するなど、直接的ではないけれど、間接的に出来ることも、大きな支援に繋がっていると思います。節電もその一つかもしれません。日々の生活の中で、今出来ることを少し実践してみる。「それくらいしかできないわ」と思うかもしれませんが、「それくらい」の積み重ねが、きっと大きな社会の流れを作っていきます。私たちの住む地域とは離れているけれど、同じ日本である被災地に関心を持ち続けること。その気持ちが、何より大きな復興支援の原動力であると信じて、今、出来る小さなことを一緒に積み重ねていきましょう。



石巻市被災地へ続く仮道路にて

～海外ボランティア、国際理解講座など、お気軽にお問合せ下さい～

岐阜県 JICA デスク 岐阜市柳ヶ瀬通 1-12 岐阜中日ビル 2 階 岐阜県国際交流センター内
岐阜県国際協力推進員 栗原 樹里 (くりはら じゅり)

TEL: 058-263-8069 E-mail: jicadpd-desk-gifuken@jica.go.jp JICA ホームページ www.jica.go.jp